

貯水槽水道設置届

記入例

年 月 日

尾張旭市長 殿

住所 尾張旭市東大道町原田2600番地1

設置者又は維持管理の権限が与えられている方の住所氏名

届出者

氏名 上水 太郎

(法人にあつては、主たる事務所の所在地及び名称、代表者の氏名)

該当する番号に○を付けること。

分類	1	簡易専用水道	「有効容量」が10m ³ を超える場合は簡易専用水道、10m ³ 以下の場合は小規模貯水槽水道	使用開始年月	
	2	小規模貯水槽水道			
建物	名称	尾張旭マンション (TEL) 0561-76-8170		設置年月	R1年 5月
	所在地	尾張旭市〇〇町××1234番地56		階数	5階建
	主用途	1共同住宅 2事務所 3店舗 4学校 5旅館 6その他()			
所有者(設置者)	住所	尾張旭市東大道町原田2600番地1		氏名又は名称	上水 太郎
管理者	住所	名古屋市△△町□□78番地9		氏名又は名称	株式会社尾張旭 住宅管理部
	(TEL)			(TEL)	0561-53-2111 052-×××-〇〇〇〇
施設概					
給水設備(飲料用)	設置場所	1屋外 2屋内(地上 階、 地下 階)	1屋上 2給水塔 3その他 ()	1屋外 2屋内(地上 階、 地下 階)	
	設置状態	1床置き式 2その他 ()	(屋根) 1有	1床置き式 2その他 ()	
	水槽の数・容量	(1)槽 (11)m ³ 、	()槽 ()m ³ 、	()槽 ()m ³ 、()m ³	
	材質	1合成樹脂 2ステンレス 3コンクリート 4鋼板 5その他()	1合成樹脂 2ステンレス 3コンクリート 4鋼板 5その他()	1合成樹脂 2ステンレス 3コンクリート 4鋼板 5その他()	
	給水管の材質	1硬質塩化ビニル管 2硬質塩化ビニルライニング鋼管 3ポリエチレン管 4ステンレス管 5その他()			
減菌機	1有 2無				
使用水量	600 m ³ /月				
残留塩素測定器	1有 2無		1ヶ月の平均予定使用水量を記入		
備考					整理番号 簡 小

記入上の注意事項

- 1 届出者
当該貯水槽水道の設置者又は維持管理に関する権限を与えられている者
- 2 分類
簡易専用水道、小規模貯水槽水道の別について、○で囲むこと。
- 3 建物の名称
○○マンション×号棟、△△小学校本館、××会社○○工場等建物の名称を記入すること。
- 4 設置年月
水道事業者から浄水を受水して貯水槽水道施設を使用開始する年月を記入すること。
- 5 主用途
主な用途を選び、○で囲むこと。
- 6 所有者（設置者）
届出者と同一の場合は、「届出者と同一」を記入することでもよい。
貯水槽水道施設を設置（又は所有）している者（2名以上の者が共同して設置している場合はその代表者）
- 7 管理者
届出者又は所有者（設置者）と同一の場合は、「届出者又は所有者（設置者）と同一」と省略できる。
当該貯水槽水道の全部の管理を任されている者（業者に管理委託している場合は委託業者名を記入する。）
- 8 給水設備
 - (1) 受水槽
加圧及び貯水の目的で水道管より受水する水槽をいう。
 - (2) 高置水槽
配水量や水压を調節するために建物の屋上等に設けられる水槽をいう。
 - (3) 副受水槽、圧力水槽等があればその他の貯水槽欄に記入すること。
 - ア 設置場所
屋外、屋内(地上、地下○階)等水槽の設置場所を記入すること。
 - イ 設置状態
床置きは、外面を点検できる構造をいい、水槽が地下に埋め込まれているものや建物の壁や床を水槽の外壁としているものは、その他に記入すること。
 - ウ 水槽の数・容量
容量は、水槽において適正に利用可能な容量をいい、水の最高水位と最低水位との間に貯留される容量をいう。
 - エ 材質
該当する材質を選び、○で囲むこと。その他のものについては材質の種類を記入すること。
- 9 給水管の材質
該当するものを○で囲むこと。その他のものについては材質の種類を記入すること。
- 10 滅菌設備
水道水の再滅菌（消毒）のための設備の有無について○で囲むこと。
- 11 使用水量
1か月の平均予定使用水量を記入すること。
- 12 残留塩素測定器
残留塩素測定器の有無について、○で囲むこと。